



補修範囲の確認

・テストハンマー等で打診し、浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。

アンカーピンニングの本数と配置の決定

・アンカーピンニングのせん孔位置を決定し、チョーク等でマーキングする。アンカーピンの標準本数は別表を参照する。

<標準>

注入口付アンカーピン本数			注入孔の本数 (本/㎡)		
一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (m)	一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (m)
9	16	5	9	16	5

※指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ、隅角部分等を言う。

アンカーピンの決定

・アンカーピンの種類はモルタルの厚さにより決定する。(躯体に20mm以上の深さとする)
 CPアンカーピンE650 φ6mm 長さ 50mm
 CPアンカーピンE670 φ6mm 長さ 70mm
 CPアンカーピンE610 φ6mm 長さ 100mm

アンカーピン挿入口のせん孔

・専用のドリルビット (φ6.6mm) を用いたコンクリート用振動ドリルで壁面に対し直角にせん孔する。せん孔の深さは、選定したピンの長さより5mm程深くせん孔する。

孔内の清掃

・孔内の切粉等をブラシや圧搾空気等で除去する。

ピンの挿入・開脚

・アンカーピンを孔に挿入し、ハンマーで軽く叩いてモルタルの面まで打ち込んだ後、専用の打ち込み棒で先端の開脚部を拡張し固着する。

注入用エポキシ樹脂の計量・混合

・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、十分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。

エポキシ樹脂の注入

・グリスポンプに専用ノズルを装着して、アンカーピンの注入孔から適切な圧力を保ち、徐々に注入する。充てん量は指定がある場合を除き25ml (約30g) / 1カ所とする。

養生

・エポキシ樹脂注入後 (夏期15時間、冬期24時間以上) 衝撃を与えないようにし、また雨水等からも養生する。

残存浮き部への注入

・テストハンマー等で打診して、残存浮き部を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。

注入孔のせん孔

・アンカーピン固定用エポキシ樹脂の硬化後、構造体コンクリートに対し5mm程度の深さまでせん孔する。

孔内の清掃

・孔内をブラシで清掃後、圧搾空気等で切粉等を除去する。

注入用エポキシ樹脂の計測・混練

・主剤と硬化剤を規定量正確に、計量し、十分に混練する。

残存浮き部への注入

・グリスポンプを用いて、エポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入する。
 ・注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部に全面注入する。
 ・注入後、注入孔をパッキン、ウエス等でふさぐ。

養生

・注入後、夏期15時間、冬期24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、雨水等からも養生する。

仕上げ

・表面に目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂等で充てんし、仕上げを行う。

清掃

・注入部以外に付着した樹脂汚れを除去し、清掃する。

自主検査

・テストハンマー等で打診して注入状態を確認するとともに、後かたづけを確認する。残存浮き部が確認されたならば、再度注入する。